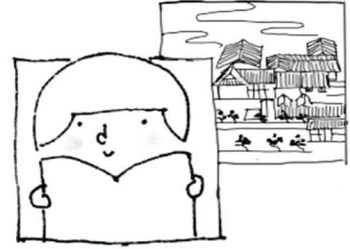


あまの 大 学 校



奉行所は家康の「奈良城」だった!?

～奈良奉行所と名奉行川路聖謨について考える～

講師: 森下 恵介氏

(奈良県立橿原考古学研究所共同研究員・京都橋大学非常勤講師)

慶長8・9年に営まれた奈良奉行所は例のない規模をもち、徳川家康が大坂包囲網の中で築こうとした「城」ではなかったのだろうか。

幕末の名奉行とされる川路聖謨の「文化財価値観」とともに奈良奉行所について考える。

【日時】 令和5年3月25日(土)13時半～(受付13時～)

【場所】 奈良公園 バスターミナル レクチャーホール
(奈良県庁東側バスターミナル内)

【参加費】 300円(資料代等)

【定員】 当日先着順200名

※新型コロナウイルス感染症予防のため、参加者はマスク着用とします。また、入場時に検温させていただきます。発熱等症状のある方は入場をお断りいたします。

主催：旧鍋屋交番と奈良きたまちの会(なべかつ 電話：0742-23-1928)

<https://www.kitamachi.info/> 共催：奈良市